

環境活動での信頼

当社の環境方針に則り、環境保全活動を推進することで、資源循環型社会の構築に貢献しています。



経済的使命

環境負荷低減に貢献する新製品を開発

環境負荷低減に貢献する新製品の開発・提供を通じて、当社のみならず、お客様企業の持続的発展と、資源循環型社会の構築を目指しています。

“鉛フリー”のニーズに応えて「QS12E」を開発

近年、電子・電気機器における特定有害物質の使用制限を定めた「RoHS指令」などへの適合が求められるなか、“鉛”は各分野で使用が避けられつつあります。

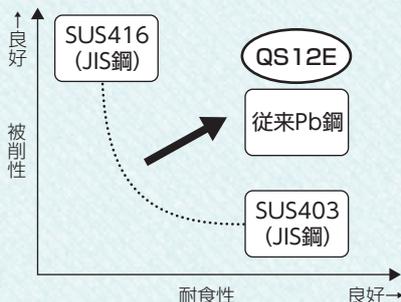
当社は、グリーン調達や有害物質全廃を進める需要家ニーズに応えるため、鉛を使用しない快削ステンレス鋼「QS12E」(キューエス・ジューニ・イー)を開発しました。

「QS12E」は、鉛の代わりに硫黄を添加しています。硫黄を添加すると耐食性が低下するという課題を、成分を調整することで解決。鉛フリーでありながら、鉛使用の従来鋼以上の被削性(加工が容易なように、削りやすさを高めた特性)、優れた耐食性を実現したものです。



快削鋼イメージ
快削鋼は、削りやすさを高めることで、鋼材の加工を容易にした鋼です。

「QS12E」の位置づけ



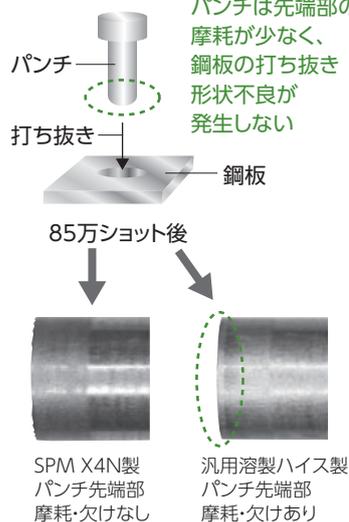
金型やパンチの長寿命化に寄与する「SPM X4N」を開発

塑性加工技術の進歩によるニアネットシェイプ化や被加工材の高強度化により、成型用金型や打ち抜きパンチの使用環境は過酷になっています。

こうしたなか、非常に過酷な環境で使用される金型やパンチの素材として、当社は窒化粉末ハイス「SPM X4N」(エスピーエム・エックス・ヨン・エヌ)を開発しました。「SPM X4N」は、汎用の溶製ハイスや粉末ハイスより耐摩耗性や耐焼付き性に優れ、特に耐摩耗性は当社従来材(汎用粉末ハイス)の4倍以上を実現しています。このため、パンチや金型の長寿命化につながることで、材料そのものの省資源化に寄与します。

パンチによる実験で「SPM X4N」の耐摩耗性の高さを証明

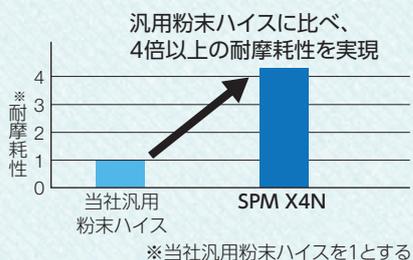
「SPM X4N」製パンチは先端部の摩耗が少なく、鋼板の打ち抜き形状不良が発生しない



特に粉末ハイスは、希少金属のクロム、モリブデン、タングステンやバナジウムを多量に含んでいるため、粉末ハイスを用いたパンチや金型の寿命が向上することで、希少金属のトータル使用量削減も図れます。

窒化粉末ハイスを国内製造しているのは当社のみで、需要家から良好な評価を得ています。

「SPM X4N」の耐摩耗性比較



29-31 環境マネジメント

環境に関する物質フロー
環境方針と環境保全活動の推進
環境保全への改善計画

32-38 環境保全活動

地球温暖化防止対策
大気汚染物質の排出削減
水質汚濁防止対策
副産物リサイクルの推進
環境リスク低減の取り組み
環境教育の取り組み
環境負荷低減に貢献する製品・設備
環境保全コスト

社会的使命

環境意識のさらなる啓発に注力

当社では、環境パトロールの実施や環境講演会の開催など、従業員一人ひとりの環境意識のさらなる啓発に取り組んでいます。コンプライアンス意識のより一層の浸透に注力していきます。



環境パトロールによって、課題を参加者全員で確認(武田社長以下)



環境に関する講演会



産業廃棄物集積場の視察

環境パトロールを実施

当社は2012年9月に、廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反の容疑で、警察当局の捜索を受け、その後捜査が行われていたところ、2013年6月に書類送検されました。

今般の送致は、当社が処分委託していたレンガくずの一部に、薄い鉄皮(金属くず)が付着していたものが含まれており、これが処分委託先最終処分場(安定型)の取扱許可品目に入っていなかったことによるものです。今後二度とこのような事態が生じないよう、全社を挙げて改善対策を実施しています。具体的な取り組みとして、環境情報の共有化と環境保全活動の活性化を目的に、定期的に、環境パトロールを実施するとともに、環境連絡会議を開催しています。

環境パトロールには役員・部署長など関係者が参加し、工場内の産業廃棄物集積場、総合排水処理設備、廃酸処理設備などを視察し、産業廃棄物の管理方法や有事の際の対応手順について確認しています。環境連絡会議では、環境意識のさらなる向上、コンプライアンスの徹底に向けて意見交換し、環境情報を共有しています。

また、環境CSRグループを、環境管理部に新たに設置しました。

環境に関する講演会を開催

2012年11月、従業員の環境意識を高めることを目的に、一般社団法人産業環境管理協会の井口忠男氏を講師に迎え、「環境問題が経営に与えるリスク及び汚染の未然防止と資源・エネル

ギーの有効利用等の循環型社会問題への対応」と題した講演会を開催しました。

講演会の模様は、テレビ会議システムで支社・支店へも配信され、全社で約200名が聴講し、環境の重要性について認識を深めました。

環境汚染防止訓練を実施

当社は、毎年6月と10月の年2回、ISO14001に基づく環境汚染防止訓練を実施しています。訓練内容は各生産部署を対象にしたもので、環境汚染にかかわる漏洩・火災などの事故内容を想定し、迅速に処置することで環境汚染を防止する訓練を実施しています。